

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 170-8401
 住 所 東京都豊島区東池袋5-51-12
 氏 名 株式会社マルエツ
 代表取締役社長 古瀬 良多 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食品スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,312	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.maruetso.co.jp/corporate/environment/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO ₂)	(実) 8,865	(実) 8,728	(実) 8,110	(実) 9,166	(実) 8,732
	(調) 9,085	(調) 8,956	(調) 8,225	(調) 9,179	(調) 8,934
削減率		(実) 1.5 %	(実) 8.5 %	(実) -3.4 %	(実) 1.5 %
		(調) 1.4 %	(調) 9.5 %	(調) -1.0 %	(調) 1.7 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延床面積×営業時間				原単位等の単位	t-CO ₂ /1000m ² h
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)		
排出量原単位等の値	0.03482	0.03444	0.03278	0.03498	0.03430	
活動量の値	254577.59	253402.99	247344.09	261978.9	-	
排出量原単位等の削減率		1.1 %	5.9 %	-0.5 %	1.5 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	7月の平均気温が、24.3℃と前年より3.7℃低かったことにより、空調・冷蔵設備の稼働が安定し削減を図ることができました。また、台風の影響により全店休業した為(10/12(土))、照明及び空調を停止した期間が発生したことも削減に貢献しています。	
第2年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、サーキュレーターを設置、店内換気対応により空調機、冷ケースの電気使用量が増加する時期も発生しましたが、全体的には稼働や温度管理を徹底し削減に努めました。	
第3年度	新型コロナウイルス感染防止対策として、サーキュレーターを稼働、店内換気を継続的に実施し、空調機、冷ケースの電気使用量が増加しました。また気温の変化(特に、夏季の気温上昇)により、保冷に必要なエネルギーが増大しました。なお、21年9月より12店舗で電力購入先を変更し、排出係数が上がったことも増加に影響しました。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		新型コロナウイルス感染の拡大で店舗を取り巻く状況が大きく変わり、省エネ活動に努めてきましたが、最終年度において目標達成が困難になりました。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		昨今の電力の供給自体が逼迫していく中、省エネ活動の推進体制を維持し、将来的に排出量削減に繋がる電力の選択など検討していく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○推進体制の整備 組織横断的な委員会を設けて目標に向けて活動しています。店舗には、該当部署より省エネなどの啓蒙活動を推進していきます。</p> <p>○外部機関の利用等 ISO14001を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施しています。</p> <p>○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 温室効果ガスの排出量と密接な関係を持つ、電気、ガス等の管理および変動について管理、分析をします。</p> <p>○照明設備の保全管理 売場への導入は完了している為、バックルーム等へLEDを導入します。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○推進体制としては、ISO14001の推進活動の中で、電気使用量の削減に全社で取り組んでいます。</p> <p>○電力抑制施策について、エアコンフィルターやハニカム清掃などを月ごとの重点管理施策として、店舗へ毎月発信しています。また、本社担当者が直接店舗へ赴き、電力抑制施策について指導しています。</p>
<p>第2年度</p>	<p>○推進体制としては、ISO14001の推進活動の中で、電気使用量の削減に全社で取り組んでいます。</p> <p>○電力抑制施策について、エアコンフィルターやハニカム清掃などを月ごとの重点管理施策として、店舗へ毎月発信しています。また、本社担当者が直接店舗へ赴き、電力抑制施策について指導しています。</p> <p>○2020年10月元住吉店において店内冷ケースを更新しました。</p>
<p>第3年度</p>	<p>○推進体制としては、ISO14001の推進活動の中で、電気使用量の削減に全社で取り組んでいます。</p> <p>○電力抑制施策について、エアコンフィルターやハニカム清掃などを月ごとの重点管理施策として、店舗へ発信しています。</p> <p>○2021年4月に出来野店、10月に子母口店、2022年1月に中原店において店内冷ケースを更新しました。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>○ISO14001の活動を中心に、電力抑制施策に取り組んできました。</p> <p>○改装した4店舗については、店内冷ケースを更新し、環境負荷の少ない機器を設置しています。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	今後、将来的に導入も検討してまいります。
風力	○	今後、将来的に導入も検討してまいります。
バイオマス	○	今後、将来的に導入も検討してまいります。
未利用エネルギー	○	今後、将来的に導入も検討してまいります。
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
なし		

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○牛乳パックリサイクル商品開発 ○詰替え商品の拡販 ○各店頭での食品トレイ、牛乳パック、ペットボトル、ペットボトルキャップの回収とリサイクル ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動 ○レジ袋製造時に関わるCO2のカーボン・オフセットの実施 ○新入社員環境教育研修として荒川クリーンエイドへの参加
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○牛乳パックリサイクル ティッシュ、トイレットペーパーの開発と販売 ○詰替え商品の拡販の実施 ○各店頭での食品トレイ、牛乳パック、ペットボトル、ペットボトルキャップの回収とリサイクル ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動 ○レジ袋製造に係るCO2のカーボン・オフセットの実施及び取組みについて、「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」において3年連続4度目となる「東北支援賞」受賞 ○新入社員環境教育研修として荒川クリーンエイドへの参加
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○牛乳パックリサイクル ティッシュ、トイレットペーパーの開発と販売 ○詰替え商品の拡販の実施 ○各店頭での食品トレイ、牛乳パック、ペットボトル、ペットボトルキャップの回収とリサイクル ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○牛乳パックリサイクル ティッシュ、トイレットペーパーの販売 ○詰替え商品の拡販の実施 ○各店頭での食品トレイ、牛乳パック、ペットボトル、ペットボトルキャップの回収とリサイクル ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	8,865 t-CO ₂	8,728 t-CO ₂	8,110 t-CO ₂	9,166 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	5,121 KL	5,007 KL	4,921 KL	5,312 KL
事業所の数	16	16	16	17

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
鹿島田店	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎	996	965	943	907
柿生店	川崎市麻生区上麻生5-41-1	868	870	783	938